

「こども としょかん」の取組状況について

第 5 次滋賀県子ども読書活動推進計画（計画期間：令和 6 年度～10 年度）」が
目指す「滋賀まるごと『こども としょかん』」の実現に向け、令和 6 年 4 月、子
どもの読書環境整備の中心的な役割を担う「こども としょかん」サポートセン
ターを開設するとともに、読書活動の担い手育成等に取り組んでいる。

令和 6 年度の実績と、令和 7 年度の取組について報告する。

1 令和 6 年度の主な取組実績

(1) 子ども読書支援(地域や家庭での読書を支える取組)

- ア 多様な子どもたちの読書機会を確保するための施設訪問を実施
 - ・大津少年鑑別所、子ども家庭相談センターにおいて特別貸出や読書会を実施。(17 回訪問 延べ 602 冊を貸出)
- イ 地域における読書活動の担い手を育成するため、読書ボランティア養成講座を実施。(2 回実施 延べ 237 人が参加)
- ウ 乳幼児期からの読書習慣の形成を図るため、大規模商業施設において読書イベントを実施。(1 回 41 人が参加)
- エ その他各種イベントに参加・出展
 - ・県立美術館 40 周年記念事業「アートにどぼん！ワークショップフェスティバル」で図書館プログラム「絵本にどぼん！」を実施。
 - ・じんけんミニフェスタで「布絵本を広げて遊ぼう」を実施。

(2) 学校図書館支援(学校図書館の活性化を推進する取組)

- ア 全市町各 1 校の公立小中学校を訪問し意見交換や助言を実施
- イ 特別支援学校を訪問し貸出を実施(4 か所を訪問、延べ 296 冊を貸出)
- ウ 学校図書館活用セミナーを開催(1 回、50 人が参加)
- エ 学校図書館サポーター養成講座を開催し、学校司書となりうる人材を育成(7 回連続講座、29 人修了)
- オ その他指導、相談等
 - ・図書資料の利用指導を実施。(1 回 23 人が参加)
 - ・学校図書館運営に関わる相談、懇談を実施。

(3) 読書支援策の総合調整・研究・発信

- ア 「こども としょかん」ポータルによる情報発信を実施
 - ・「子ども向け」「学校図書館に関わる皆さん向け」「地域で活躍される皆さん向け」の各ページを設け情報を発信。
- イ 滋賀県読書のまちづくり推進協議会
 - ・図書館、学校図書館、書店等の連携協働による読書のまちづくりを推進するため、関係者による協議会を開催。(1 月 21 日開催)

2 成果と課題

- ・「こども としょかん」サポートセンターにおいて「子ども読書支援」「学校図書館支援」「読書支援策の総合調整・研究・発信」の3本柱により事業に取り組み、読書機会の確保や担い手の育成、情報発信などを進めた。
- ・子どもたちにとって最も身近な読書のある学校図書館については、一層の活用、活性化を図るため、各市町の公立小中学校との意見交換や助言を行った。また、学校図書館のキーパーソンである学校司書になりうる人材の育成を図るため、学校図書館サポーター養成講座を開催した。
- ・今後はこうした取組をさらに進め、市町との連携のもと全公立小中学校への学校司書配置を目指すなど、すべての子どもがいつでもどこでも楽しく読書ができる環境づくりを一層進めていく必要がある。

<学校司書の配置状況>

	令和6年度	令和7年度	増減
学校司書が配置されている市町数	17市町	19市町	+2市
配置済公立小中学校数	256校	263校	+7校
配置率（全公立小中学校313校に占める配置済校の割合）	81.8%	84.0%	+2.2ポイント

3 令和7年度の取組

これまでの事業をさらに進めるとともに、学校図書館の一層の活用、活性化や、読書のまちづくり推進事業など、新規事業にも取り組む。

<主な新規事業>

(1) 学校図書館活用学校訪問の実施

- ・令和7年度～9年度の3年間で全ての公立小中学校を訪問。
- ・学校への指導、助言を通じ学校図書館のさらなる活用、活性化、好事例の横展開を図る。

(2) 学校司書研修・交流会の開催

- ・学校司書の資質向上を図るための研修・交流会を開催。（7回実施予定）

(3) 校長を対象とする研修の実施

- ・学校図書館長である校長が、学校図書館活性化にリーダーシップを発揮できるよう、総合教育センターにおいて校長を対象とするオンデマンド研修を実施。

(4) 読書のまちづくり推進事業の推進

- ・図書館、学校図書館、書店等の連携協働により、県内各地で読書イベントを開催するなど、読書への関心を高める事業を行う。